



医療連携 つつじ

第14号
平成22年1月発行

社会保険中央総合病院 〒169-0073 新宿区百人町3-22-1

総合医療相談室 電話/FAX03-3364-0366 <http://www.shahochu.com>

新年のごあいさつ

副院長 高添 正和

世界に冠たる数の質の高い医療機関が蝟集するここ東京の地で、社会保険中央総合病院が永く医業を継続していくためには、医療連携の充実が避けがたいと確信しております。

当院では、必要なアメニティーを整備し、人員を養成する事に鋭意取り組んで参りました。

昨年は、公的病院としての存続の方向性が決まり、病院機能評価の更新認定を受け、病棟の整備、病院新システムの導入などを着々と進めております。人員の養成に際しては、医療現場では病態・社会的背景がさまざまな患者さんを診ておられる診療所の先生方が、毎日の診療の中でどんな些細な事にも全精神を集中して患者さんに対処しておられる姿勢に多くのことを学びました。この先生方の真摯な姿勢は、病院職員が診療所の先生方を再発見する一つの鍵となっています。医療人としての全幅の精神を以って、目の前の病人を診る。病状が軽くても重くても、鼻風邪だろうが重症の病だろうが、同じ態度で接し、いかなる時も、その姿勢は変わる事がない。事の軽重を問わず日常の事に、精神を集中させて心を散らすことがない。その瞬間、些事は些事でなくなります。そう気づいた時、我々病院の職員は診療所の先生方への尊敬の念を抱きました。

私どもは地域の先生方と当院職員との“人の輪”と“人の力”を柱にした安全で心温かい医療実践こそが医療連携の華と自負しております。

この先の見えない風雪の時代にいかに予測しがたい状況に陥ろうとも、医療という現場で、先生方と手を取り合って地域住民の健康と福祉の増進に努めて行く所存です。

今後とも社会保険中央総合病院をよろしくお願ひ申し上げます。



